

「B&G 水辺の安全教室」プログラム

「B&G水辺の安全教室」は、ライフジャケット浮遊体験や背浮き、身の回りにある浮く物を利用した落水時の対処法などの実体験を通して、子供たちが水辺の活動において「自分の命は自分で守る（セルフレスキュー）」意識や知識、技能を身につけ、安全に楽しく水辺で活動してもらうためのプログラムです。

① 事前学習：水辺の安全学習アプリによる教室授業 目安：15分

●対象：小学校1年生～

- ・プールでの水泳授業を実施する前に「水辺の安全学習アプリ」による事前学習を行ってください。
- ・学習アプリで「水辺の安全」の基礎知識を学ぶことで、より効率良くプール授業を実施できます。
- ・GIGAスクール環境に対応しインターネット環境があれば、無料でパソコンやタブレットでの利用が可能です。低学年には大画面に投影し、先生が解説しながら大勢で視聴、高学年であれば、個々に操作をしながら学習を進めることが可能です。



② 実践学習：水辺の安全教室プログラムの実施（プール授業）

●対象：小学校3年生～

- ・実践学習は、下記の通り段階的な実技メニューで構成されています。
- ・学習指導要領（小学5・6年生体育）に導入の『安全確保に繋がる運動「背浮き」』を習得させるためには、段階を踏んだ指導が重要です。タイムスケジュールを参考にしてください。

難易度★	〈実技メニュー〉	〈内容〉
易 ★	ライフジャケット浮遊体験	⇒ ライフジャケットの効果 HELP姿勢 エレメンタリー・バックストローク
★★	ペットボトル浮き	⇒ 身近な物で浮く ペットボトルレスキュー
難 ★★★	背浮き（着衣泳）	⇒ 自分の体だけで浮く

※背浮きの成功率を上げるために、段階を踏んで体験することをおすすめします

- ・水辺の安全プログラムは、「事前学習：紙芝居」と「実践学習：3種の実技メニュー」の組み合わせ実施を推奨していますが、
 - 低学年の場合 ⇒ 紙芝居での学習のみ
 - 授業時間の確保が難しい場合 ⇒ プールで1実技メニューのみ実施
 - ライフジャケットが無い場合 ⇒ 背浮きやペットボトル浮きの実施
 など、実施時間や器材などのご都合に合わせて実施メニューの選択も可能です。紙芝居や背浮きだけの実施でも十分学習効果は得られます。ぜひ、夏休み前に実施下さい。

《児童の持ち物》

基本：水泳の準備（水着、スイムキャップ、ゴーグルなど）
 ペットボトル浮きの場合：空の2ℓペットボトル（フタ付き）
 着衣泳の場合：洗濯した洋服（長袖・長ズボン）、洗った運動靴